

- 4 スペレオニュース
Speleo News
- 14 イベントカレンダー
Event Calendar

特集 洞窟の考古学

～考古学の視点から洞窟を探る～
 Archeology in Caves

- | | |
|--|---|
| 15 洞窟における考古学の魅力
Archeological Charm in Caves | 小野寺秀和
ONODERA, Hidekazu |
| 16 洞窟で土器や石器を見つけちゃった！ 場合
If You Find Earthenware Vessels or Stone Implements in a Cave | 小野寺秀和
ONODERA, Hidekazu |
| 17 ガンガラーの谷と武芸洞遺跡の発掘
Excavation of the Bugei-do Cave Site, in the Valley of Gangala, Okinawa | 山崎真治
YAMASAKI, Shinji |
| 21 Column 大山水鏡洞で発見した縄文人
Column: Human Bones of the Jomon Period Found in Ooyama-Suikyo-do | 牧野浩典
MAKINO, Hironori |
| 22 保存版！ 日本の洞窟・岩陰遺跡リスト
The List of Cave & Rock Shade Remains in Japan | 小野寺秀和
ONODERA, Hidekazu |
| 26 さらに深く知るための文献リスト
The List of References to know about Archeology in Caves more deeply | ケイビングジャーナル編集部
Editorial Department of CJ |

- | | |
|---|--|
| 27 山口ケイビングクラブ第17回救助訓練会報告
The Report of the 17th Yamaguchi Caving Club Rescue Training | 田中孝宜・村上崇史
TANAKA, Takayoshi・MURAKAMI, Takashi |
| 30 2009年5月内間木洞窟救助勉強会参加報告
The Report of Cave Rescue Training at Uchimagi-do in May, 2009 | 小林 日
KOBAYASHI, Ayumi |
| 34 ポーランドのケイビング事情
The Report of Caving Circumstances in Poland | 落合直之
OCHIAI, Naoyuki |
| 35 ポーランド・インフォメーション
The Information about Poland | ケイビングジャーナル編集部
Editorial Department of CJ |
| 36 洞窟生物学入門 第2回
The Primer of Cave Biology No.2 | 曾根信三郎
SONE, Shinzaburo |
| 40 日本の観光洞 -29
The Report of Show Caves in Japan No.29 | 水島明夫
MIZUSHIMA, Akio |
| 42 南仏プロヴァンスの洞窟(7)
プロヴァンスの変わり種洞窟：オランジュの「洞窟レストラン」、
ヴィルクローズの「洞窟城」およびモナコ植物公園の「公園直下の洞窟」
Caves in Provence District, South France No.7 | 本多 力
HONDA, Tsutomu |
| 46 洞窟書籍新刊紹介
The Introduction of New Speleo Books | |
| 48 コウモリを襲う白い鼻症候群
White Nose Syndrome in Bats | 菊池 賢
KIKUCHI, Ken |
| 49 プロジェクトボード
The Project Board of Caving Clubs | |
| 54 学会からのお知らせ
The Information from the Speleological Society of Japan | |

Editor's Note

ケイビングジャーナル第37号をお届けします。今号は日本洞窟学会の一分野である洞窟考古学を特集しました。
 洞窟内は地上に比べて雨風や人為的に破壊される可能性が低く、石灰洞においてはアルカリ成分により骨が溶けずに残存しやすい、といった特徴があります。ちょっとした休憩のときに、足元に注意してみてください。大発見につながるかもしれません。
 考古学とは人類が残した痕跡から当時の生活を研究する学問ですが、洞窟民俗学も重要な分野だと考えます。民間伝承を掘り下げ、その社会的背景や現在の生活文化との相対性を研究するのです。かつて野山で遊び、山仕事をし、伝承を継承した方々は高齢化が進み、口承者は途絶えつつあります。現在はこのような土地特有の伝承を発掘、採集する最終機会と考え、積極的に聞き込みを行い記録していくべきでないでしょうか。

ケイビングジャーナル編集長 千葉伸幸